

開倫塾塾生の皆様

これからの大学や企業で求められるのは、分析的・論理的読解能力と、
コピーでない創造性に富む論理的文章作成能力

開倫塾
塾長 林 明夫

開倫塾の創業者であり、塾長の林明夫です。

1. 開倫塾の塾生の皆様が高校を卒業後大学や大学院に進学をなさるとき、学校を卒業後仕事や社会的活動をなさるときに、最も必要とされる能力は何か。
2. それは、様々な資料を分析的・論理的に読み込む読解力と、得られたデータを分析し、それらを取りまとめて文章や図表などを用いて発表する表現能力です。創造性に富んだ論理的文章作成能力ともいえます。
3. 大学で現在最も問題になっているのが、課題の提出に際して、インターネットで検索し、その資料をコピーして貼り付けたものをそのまま提出する「コピー」問題です。そのようなレポートの提出を受けた大学の先生方は、「剽窃発見機」を用いる場合もありますが、慣れていまして一瞬で見破ります。
4. インターネットで調べることは素晴らしいことですが、調べた内容をそのままコピーして貼り付け、レポートや論文として提出してはいけません。
5. それらの内容を自分の力で十分に分析し、その課題をどのような理論で筋道を立てて考えているかを、まずは自分の力でよく考えてください。
6. その後、創造性を発揮して自分の考えをまとめ上げましょう。そして読む人や聞く人にわかりやすいように、これはこのようなことであると、筋道を立てて、自分の考えを自分のことばで書き表しましょう。これが、創造性に富んだ論理的文章です。
7. この文章に基づいて、発表のための資料やパワーポイントを作成することが、大学でも、社会に出て仕事や社会的活動をするときにも重要です。
8. このように、インターネットなどで調べたことを十分に理解したうえで、自分の考えを自分のことばでまとめ上げ、筋道立ててわかりやすい文章として書き表すこと。このことを十分に理解して、中学校、高校での勉強をお進めください。

9. 大学では英語をはじめ様々な言語を、教科として学びます。教科として学んだ場合には、必ず試験があります。試験に合格しないと単位が取得できず、その語学が必修教科の場合は留年となります。卒業の最長年限までに試験に合格しないと卒業ならず退学となります。

実際、私が卒業した慶應義塾大学法学部法律学科では、語学は英語のほかにもう1教科が必修で、評価がかなり厳格であったため、少ない数ではない同級生が留年しました。人知れず退学した人もいました。何割かが留年したクラスもありました。

高等教育機関である大学では、語学は最重要教科ですので、日本でも世界でも極めて熱心に指導されています。また、大学ですから、試験も厳しく行われます。

大学で語学にしっかり取り組めば、2年間で新聞や本が読めるようになります。論文も大学3年生になれば読めるようになります。

10. そこで、大学での語学の試験（確認テスト、単元テスト、定期テスト）について少しお話します。

11. 語学は、どこの学校でも必修科目です。最近では、試験は辞書持ち込み可の場合が多いようです。辞書持ち込み可の試験でも、CP検索機能の付いた電子辞書の持ち込みは不可です。紙の辞書のみ持ち込みが可能です。

12. ですから、中学校、高校時代に紙の辞書に慣れ親しんでおかないと、大学の語学の試験になって慌てて紙の辞書を持ち込んでも、自由自在に使用できません。最低点すら取れず、留年や退学の直接的な原因になります。

13. まして、辞書をほとんど引かずに英語や国語、古文や漢文を中学校、高校時代に学んだ場合は、大学での教育に全く耐えられず、留年や退学の直接的な原因になります。

14. 各教科の学習方法を一つ一つ確実に身に付けて、大学に進学し、仕事や社会的活動を開始すべきと考えます。

15. どうか、大学を目指す塾生の皆様は、小学生、中学生、高校生のうちから手を抜くことなく、全教科ともしっかりと勉強に励んでくださいね。

16. <最後に一言>

(1) 日本語でも英語でもわからないことばがあったら、気持ちが悪いと思い、おっくうがらないで辞書を引き、どのような意味であるか調べる。調べた内容は意味調べノートやカードに書き写し、こまめに覚える。身に着ける。

(2) 1日に10回以上辞書を引く習慣を、1日も早く身に着ける。

(3) 1日に10、365日で3650、3年で1万語、知っていることばを増やす。

(4) 身に着けていることばの数、語彙(ごい)の数は力です。(「語彙は力」)

(宇都宮大学大学院工学研究科客員教授)

2016年11月24日(水)15時30分